



楽水楽山

第164号

令和6年 12月 12日発行

【住高PTA】「おはよう」から始まる1日

10月29日（火）住田高校PTA登校時一声運動

PTA役員の方々が昇降口前に集まってきました。お子さんを送っていらして、一緒に生徒昇降口に並んでくださる方も！爽やかな秋晴れの朝で空気が凜と澄んでいます。先生も生徒もご家族もみんなで挨拶を交わす朝、いい風景です。普段は、校舎内で飛び交う「おはよう」の音が、この日は校舎に反響して「爽やか」な住高を演出していました。



おなじ時間に存在する自分とは違う人が送ってくれた朝。

みんなそれぞれ違う時間をすごしているはずなのにどこかで誰かと繋がっている。

その朝に「おはよう」と交わす言葉と笑顔。

特別ではないはずのものが実はとびっきりの宝物だということを感じさせてくれた時間でした。

「第2回小規模校さみっと」を住田町で開催しました

令和6年11月19日（火）住田町農林会館を会場に第2回小規模校さみっとが開催されました。令和4年に大迫町での第1回開催で産声をあげたこの「さみっと」。住田町教育委員会のバックアップを受け、住田高校の地域みらい留学生と生徒会・教育コーディネーター・教職員が一丸となつての開催となりました。会場は、笑いと熱気、そしてアツイ視線で満たされた一日となりました。今回、日程調整等の関係もあり多くの生徒に参加してもらうことはできず残念でした。次回は全体に募集をかける予定ですので楽しみに！

第2回小規模校さみっとIN住田

#いわて #住田 #小規模校 #さみっと #地域みらい留学



生徒が創る授業「防災教育」を1年生がやってみた

陸前高田市防災マイスターで住田高校1年生の金野恵人くんが、11月13日(水)に全校生徒を対象とした防災教育授業を行いました。金野くんが「師匠」と崇める3.11語り部の会会長の阿部重人さん、陸前高田市で防災フェスタがあった時にサポートに入ってくださった陸前高田市防災マイスターの金野博樹さん(金野くんは阿部さん、博樹さんと自分を「住田高校防災三銃士」と呼んでいます)のご協力を得ながら、大好評で幕を閉じた「防災授業」。大役をこなした恵人くんには感謝しつつ、来年度さらにレベルアップした防災教育を期待せずにはられません。以下は授業後の振り返りにおける恵人くんからの感想です。

「全校生徒と職員を前にはじめは緊張もしましたが、リハでは早口だったところも、本番ではゆっくりと丁寧に話すことができました。凝固剤実験もかなりウケがよかったようです。やはり、肝となった題目が成功してくれて自分としては嬉しかったです。クイズもみんなで盛り上がってくれました。途中でサポーターのお二人が阿吽の呼吸で補足をしてくれたため、防災知識を正確に生徒や先生方に伝えることができました。今回のテーマは「自助・共助の大切さ」「災害時におけるトイレの必要性」を知ることでした。災害が発生した場合、約一週間は「自分たち」で生き残らなければなりません。公共の助けや備蓄に頼らずに自身の工夫で生き延びることが大事なのです。そのために、各自が備蓄のことを頭の片隅に置き、定期的な点検や訓練が必要なのです。このことが伝わっていればこの出前講座は成功です。災害用トイレの実験も好評でした。最後のクイズで某1年生が「的確に！」と防災の心構えを答えてくれたことで、今日みんなに伝えた内容がみんなに伝わったと確信することができました。」



住田愛に満ちた先輩たちの集い(同窓会仙台支部)

11月30日(土)宮城県仙台市ホテル白萩で第6回となる住田高校同窓会仙台支部ふるさと住高同窓の集いが開催されました。平成29年以降コロナ禍により途絶えていた交流が久方ぶりに復活。企画・運営をしてくださった事務局の皆様はこの場をお借りして感謝申し上げます。13名の参加で開催された集いは、終始和やかな雰囲気の中行われました。地元岩手からは同窓生として千葉同窓会長さん、神田町長さん、松高教育長さん、第17代住田高校校長佐藤猛夫さんが参加。懐かしい思い出や住田のこれからについて話が弾みました。関東支部長さんも駆けつけてくださいました。千葉同窓会長からは、新たな同窓会の繋がり場を模索し、今後はSNSなどを活用しながら新たな住田高校同窓生の皆さんの交流の場を模索していくとして会を閉じました。住田高校を卒業すると皆さんも同窓会の仲間入りです。先輩たちと繋がり、住高を盛り上げていきましょう!



懐かしい顔ぶれと当時の思い出に浸れるのは、同窓会の醍醐味

【Instagram】



【住田高校 note】



【Facebook】



【住高ハウスLINE】



住高ハウス〇〇

まるまる通信

住高ハウスの
情報をまるっ
とお届け！

【レクデー 生徒主催ちぎり絵ワークショップ 初開催！】

11月12日(火)定期考査終わりの放課後、住高ハウス〇〇にて、2年女子生徒の地域創造学のアクションを兼ねた「ちぎり絵ワークショップ」が開催されました！

主催生徒が描いた「四季」をテーマにした下絵に、各チーム思い思いの色の折り紙を、好みの大きさにちぎって貼り、隙間なく埋めていきます。おしゃべりに花を咲かせながら楽しむ人、2時間以上集中を切らさず作業を続ける人。それぞれが個性や創意工夫あふれるアートを完成させました。大人も生徒もスマートフォンに触らない時間も持つことが出来、良いノーメディアタイムになりました！

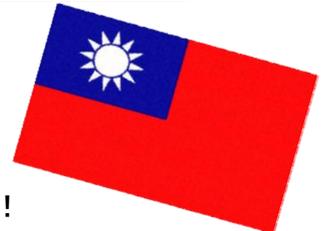
実は当日、主催者の生徒は高文祭の準備のため公欠。しかし、事前に会の進行方法をコーディネーターと綿密に相談。プロジェクトテーマ設定の理由、アクションすることで目指したい未来、ちぎり絵のやり方、作業のコツを動画で撮影するなど、参加者への配慮を欠かさず準備をしました。事後アンケートもアンケートフォームで作成し、参加者の回答からワークショップの反応を読み取り、その後の新たなアクションに繋げていく予定です。

住田町独自の教科「地域創造学」の第5ステージは、1人1つのマイテーマを設定し、プロジェクトを立ち上げ、アクションします。教育コーディネーターは、生徒の活動の相談をいつでも受け付けています。生徒1人1人のアクションの実践の場として住高ハウスを活用してもらえると嬉しいです！



【台湾の方々をお招きして 国際交流お茶っこ会】 11月22日(金)

台湾からボランティア活動を目的に来日された方々を住高ハウスにお招きして開催したお茶っこ会。珍しい台湾のお菓子を頂きながら、マネーゲームでお金の使い方を学び、上手な収納方法を知り、洗濯物のたたみ方も実際に体験しました！



【住田町歳末たすけあい芸能祭へ初めて参加！】

地域みらい留学生が立ち上げたダンス同好会と有志生徒の協力】

12月1日(日)住田町社会福祉協議会主催
令和6年度住田町歳末たすけあい芸能祭に
初めて住田高校のダンス同好会1年女子2名と
有志の1年生男子2名が参加しました！

住田高では、今年度から2名の地域みらい
留学生を迎えています。

そのうち1名が長年習ってきたダンスを、
高校でも楽しみたいとスタートしたダンス同好会。
現在1年女子を中心に6名で活動しています。

町内の方々に日頃の練習の成果をお披露目し、
住高地域応援団募集をPRする良い機会となりました。

今回の演目は2曲。「YMCA」「ダンシングヒーロー」観客の方々も一緒に盛り上げていただけるようにとの選曲です。会場の皆さんもあたたかい拍手と声援を送ってくださいました。

世田米学童クラブの皆さんとは、普段から交流が多く、今回もぜひコラボレーションをとということで、バクダンサーとしてたくさんの子供たちが参加。クリスマスカラーのポンポンで会場を華やかに盛り上げ。

参加した生徒たちは「地域の皆さんに、楽しんでもらえたので良かった」「子供たちも楽しんでくれた」と、充実の表情で答えてくれました。

コーディネーターは今後も地域へ飛び出して、さらなる交流が生まれるようサポートしていきます！



【地域の方による軽食販売をコーディネート 世田米小股の美実工房さん】

6月の定期考査期間、9月の住田町役場での学校公開研究会での出店、10月住高祭の出店に続いて、11月の定期考査期間も、世田米小股にある美実工房さんに軽食販売のご協力をいただきました！

昔なつかしい味わいの唐揚げや大ぶりの焼き鳥、ふっくらがんづきなどに加えて、ニューフェイスの大えびぷりぷりのエビチリが登場！売り切れ必須の人気商品となりました。テスト期間は給食がない住田高校。テスト後のエネルギーチャージと和やかなお昼のお楽しみタイムとなりました♪

